

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和08年01月13日

計画の名称	佐賀市における強靱かつ持続可能な下水道事業の推進・佐賀市排水対策基本計画（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	令和07年度 ～ 令和11年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	佐賀市													
計画の目標	下水道施設の耐震化・耐水化等を実施し、災害時においても持続可能な下水道機能を確保する。 集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う浸水被害リスクの増大に対し、100mm/h安心プランに基づき、市民と行政が一体となって浸水対策を実施することにより、市民生活への影響を最小限にする。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		629	A	568	B	0	C	61	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	9.69	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R6末)	(R9末)	(R11末)
1	①処理場・ポンプ場における耐水化率を25%（R6末）から88%（R11末）に増加させる。			
	①処理場・ポンプ場における耐水化状況 耐水性能を保持している施設数／佐賀市公共下水道耐水化計画における耐水化すべき施設数	25%	88%	88%
2	②処理場・ポンプ場における非常用発電設備設置率を94%（R6末）から100%（R11末）に増加させる。			
	②処理場・ポンプ場における非常用電源確保状況 非常用電源確保済みの施設数／確保すべき施設数	94%	100%	100%
3	③下水道による都市浸水対策の達成率を41%（R6末）から42%（R11末）に増加させる。			
	③都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね１０年に１回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合 下水道による都市浸水対策達成率(%)=概ね１０年に１回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積（ha）/都市浸水対策を実施すべき区域の面積（ha）	41%	41%	42%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	－	改築	下水道施設耐水化	実施設計、耐水化工事等	佐賀市	■	■	■			90	－	－
	A07-002	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	ポンプ 場	－	非常用発電設備増設	電気設備	佐賀市	■					151	－	－
	A07-003	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	管渠（ 雨水）	改築	愛敬水路整備	狭窄部改修	佐賀市	■	■	■			218	3.5	策定済
		浸水総合																	
	A07-004	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	管渠（ 雨水）	改築	平松屋外雨水幹線整備	護岸改修工事（L=100m）	佐賀市	■	■	■	■		15	3.5	策定済
		浸水総合																	
	A07-005	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	－	－	施設計画見直し等	施設計画の見直し	佐賀市	■	■	■	■		94	3.5	策定済
		浸水総合																	
											小計						568		
										合計						568			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	C07-001	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	－	新設	浸水標尺の設置・活用	浸水常襲地区の標尺設置、リアルタイム監視化	佐賀市	■	■	■	■		30	－	－
		浸水標尺を設置、活用することにより、浸水頻度の高い地区の冠水傾向を把握するとともに、住民の災害に備える意識を促し浸水被害の軽減を図る。																	
	C07-002	下水道	一般	佐賀市	直接	市民・佐賀市	－	－	市民主体の河川清掃活動の支援	浸水の側面的支援	佐賀市	■	■	■	■		16	－	－
		基幹事業と一体的に実施することにより、市内水路の排水機能の維持・向上を図るよう、河川清掃活動を支援する。																	
	C07-003	下水道	一般	佐賀市	直接	佐賀市	－	新設	水路貯留容量の増加	お濠の貯留等	佐賀市	■	■	■	■		15	－	－
		基幹事業と一体的に実施することにより、市内水路の排水機能の維持・向上を図るよう、水路貯留容量の増加を図る。																	
											小計						61		
											合計						61		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	82				
計画別流用増△減額 (b)	27				
交付額 (c=a+b)	109				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	46				
翌年度繰越額 (f)	63				
うち未契約繰越額(g)	14				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	12.84				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	工事にかかる地元及び関係機関との調整の遅れ				